

【目次】

I	ある老教授とタクラマカン沙漠にじんだ町の仮説	7
	老教授との出会いと仮説	
	東洋の探検家は仏教僧	
	老教授の仮説	
	天山の雪どけ水と渤海湾の海岸線	
	人生と学問	
	老教授のなげき	
II	初めての西域の旅と老教授の苦言	41
	老教授に初めて接触する	
	老教授の指摘	
	NHKへの提言	
	老教授への電話	
III	老教授の死と意識の伝達	67
	むづかしかつたオボの取材	
	初めての草原行①(ある旅行誌への紀行文より)	
	71 68 67 59 55 44 42 41 32 25 23 15 10 8	
IV	湿原化への最初の疑問	99
	旅の途中で気づいたこと	
	ホロンバイル入り	
	中国の旅の特殊性	
	日本の常識が通じない大陸の自然現象	
V	ウルシシ河が湖に	127
	輝河を渡る?	116
	渡れないフィゴル	105
	ホロンバイルの砂丘	101
		99
		92 88 85 82 80 78 76 73
		138 130 128

VI ハルハ河三角地帯と古地図

外蒙に帰属していたハルハ廟

すでに鳥居龍藏の手記に問題点が指摘

バイル湖とハロンアルシャン一帯を交換?

三つの河にはさまたた三角地帯

VII 草原は湿润化しているか

古地図集め

湿润化の傍証

湖は河の一部?

ホロンノールとバイルノール

湖の増減に関する証拠

地図の誤謬

VIII 古来よりさまざまに変わる名前

古来よりさまざまに変わる湖の名前

ふたつの湖は塩湖だったのか

貝爾諾爾はホロンノールに次いで大きかつたか

211 206 202 201 195 192 187 182 177 174 173 167 163 160 148 147

テムジンの草原

元代より前は、バイルノールは存在しなかつた?

唐代の俱輪泊周辺

古典からわかること

IX 砂と水——湖の成立の条件

雨量の調査

ホロンバイル草原の特殊性

必要な長期の調査

X 地図による考察

もうひとつ三角地帯

バイルノールは変化しない?

ホロンノールの縮小

満ちている湖

『大清帝国全図』の謎

湖の減水は三回か四回

280 274 271 268 264 254 253 246 242 240 239 234 225 223 217